

漁海況速報

6-No. 34

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和6年11月15日～11月21日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

- 黒潮は、犬吠埼の南東40マイル付近を東北東に流れ、
36°15'N 142°15'E付近より北西に向きを変え、
37°30'N 141°40'E付近を流去している。
- 本県沿岸域は、18～22℃台の水温となっている。

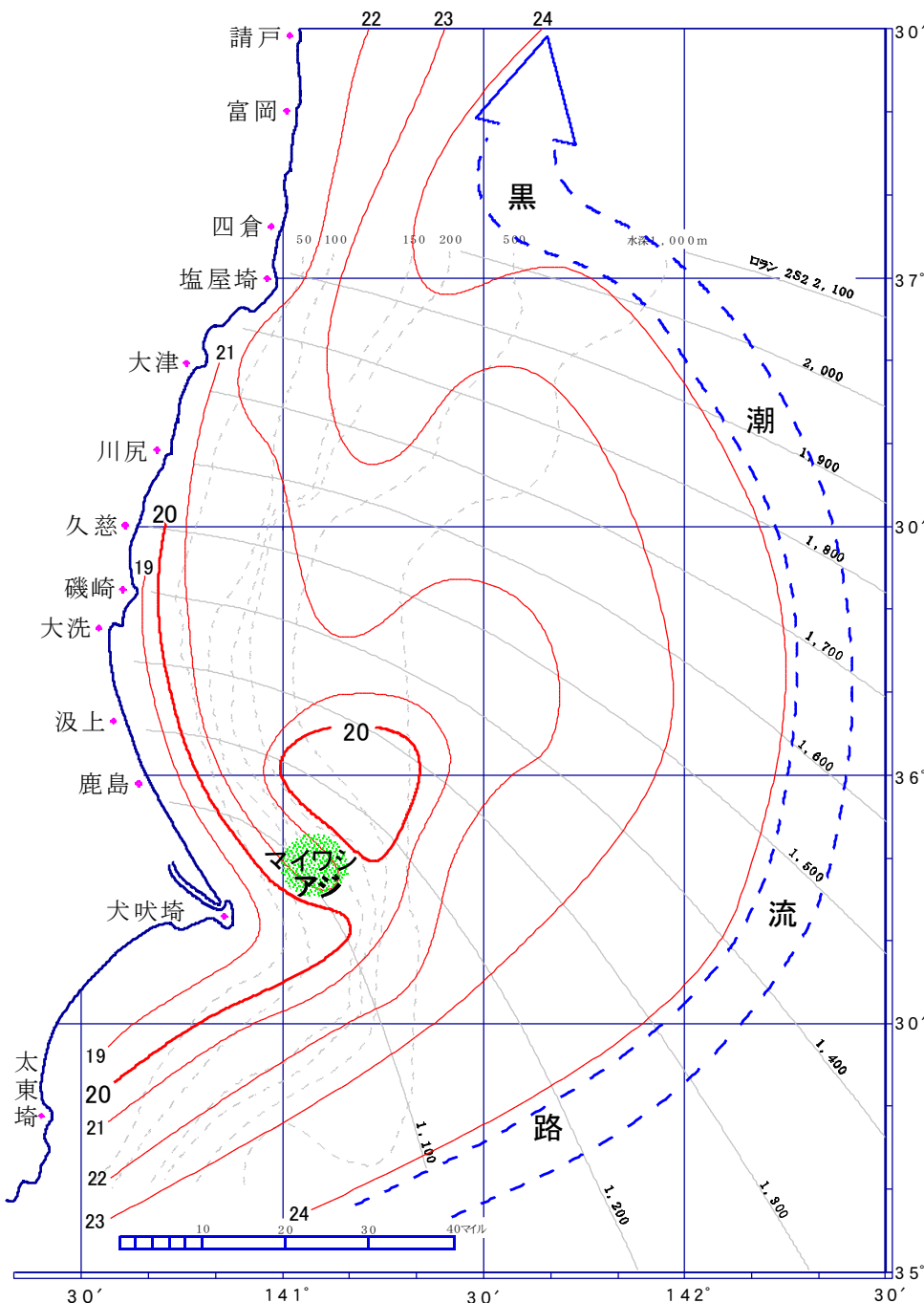
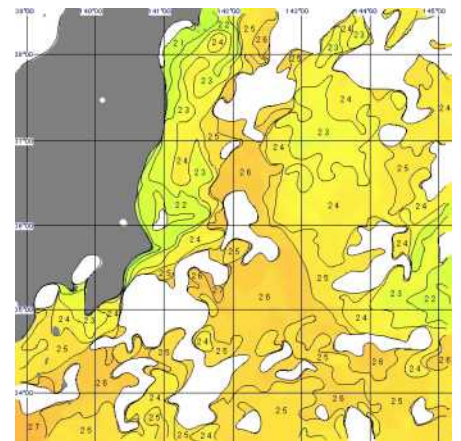
那珂湊定地水温(℃)

日	年 令 6	令 5	平年
11/15	19.6	18.5	16.9
16	19.5	18.1	16.8
17	19.9	18.1	16.7
18	19.5	18.2	16.5
19	18.9	17.7	16.4
20	18.5	17.4	16.3
21	18.9	17.0	16.2
平均	19.3	17.9	16.5

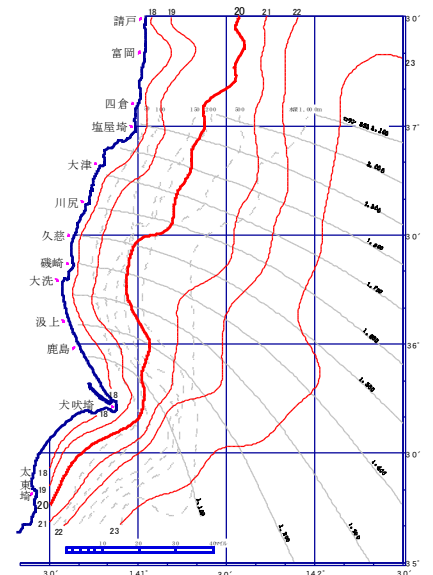
30年平均: 1991～2020年

令和6年11月15日～11月21日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和5年11月17日～11月23日

【海況図】

漁況の特徴

6 - No. 3 4

属地、単位＝四捨五入

11/14～11/20

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数	
シラス	船曳網	大津	1,262	1,561	1,970,050	47	
		久慈浜丸小	1,452	1,429	2,074,129	20	
		久慈町	1,341	1,465	1,964,326	12	
		大洗町	8,408	1,206	10,143,110	78	
		はさき	1,499	1,518	2,275,320	22	
ヒラメ	その他釣り	平潟	154	1,648	254,496		
		大津	105	1,327	139,420		
		川尻	400	1,679	671,190		
		那珂湊	58	2,339	134,980		
		大型定置網	会瀬	11	1,591	16,706	
タイ類	小底5t以上	平潟	522	564	294,174		
		大津	22	555	11,980		
		那珂湊	24	486	11,424		
		その他釣り	大津	91	800	72,800	
		大型定置網	会瀬	211	639	134,798	
スズキ	その他釣り	川尻	19	800	15,200		
		はさき	122	350	42,760		
アナゴ	小底5t以上	平潟	64	282	18,108		
		大津	7	794	5,561		
		久慈町	18	978	17,500		
		那珂湊	11	1,231	13,915		
アンコウ	小底5t以上	平潟	32	938	29,840		
		大津	160	1,275	203,675		
		川尻	66	500	32,750		
		久慈町	144	684	98,560		
		那珂湊	28	1,305	36,680		
タラ類	小底5t以上	那珂湊	7	216	1,580		
ホウボウ	小底5t以上	平潟	149	1,145	170,695		
		大津	19	340	6,570		
		那珂湊	25	1,026	25,335		
フグ類	小底5t以上	平潟	24	2,406	57,513		
		那珂湊	8	1,500	11,250		
サワラ	その他釣り	久慈浜丸小	63	1,854	115,900		
		久慈町	121	1,749	212,000		
		那珂湊	144	1,429	205,460		
スルメイカ	小底5t以上	平潟	13	422	5,490		
		大津	106	1,583	167,478		
		川尻	12	635	7,870		
		久慈町	90	828	74,100		
		那珂湊	44	1,425	62,140		
ヤリイカ	小底5t以上	大津	189	800	151,257		
		久慈町	7	500	3,650		
		那珂湊	25	542	13,764		
マダコ	小底5t以上	平潟	130	541	70,147		
		大津	6	497	3,130		
		那珂湊	58	1,299	74,680		
	その他釣り	平潟	42	1,119	46,781		
		那珂湊	4	1,466	6,010		
		大洗町	15	1,937	28,080		
マアジ	小底5t以上	平潟	310	160	49,608		
		大津	53	570	30,227		
		久慈町	19	238	4,595		
		那珂湊	363	291	105,742		
		大型定置網	会瀬	65	217	14,202	
サバ	小底5t以上	大津	(161)	2,585	(山売) 415,645		
		久慈町	224	28	6,249		
		大型定置網	会瀬	251	113	28,320	
ブリ類	その他釣り	平潟	10	643	6,306		
		久慈浜丸小	12	100	1,200		
		久慈町	74	164	12,160		
		那珂湊	292	299	87,237		
		大型定置網	会瀬	236	345	81,520	
ウルメイワシ	小底5t以上	平潟	60	8	500		
		大津	7	50	355		
カツオ	その他釣り	大津	18	907	16,500		

◎

まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・犬吠埼の北東10マイル付近で18～20トンの漁獲。

サバ・・・八戸の北北東20マイル付近から岩手久慈の東10マイル付近で1～60トンの漁獲。

アジ・・・犬吠埼の北東10マイル付近で2トン(1ヶ統)の漁獲。

◎

小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

シラス・・・磯原地先から高戸地先で3～160kg、日立地先で26～245kg、大洗地先から鹿島地先で16～247kg、波崎地先で23～157kgの漁獲。

◇曳釣り

平潟地先でヒラメ5～15kg、久慈浜地先から銚田地先でヒラメ1～5kg、イナダ2～50kg、サワラ2～30kgの漁獲。

注 延隻数:銘柄別隻数 大津の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

イセエビ資源管理勉強会を開催しました

1 開催趣旨

近年、茨城県ではイセエビの漁獲量が急増しています。国内のイセエビ資源は単一系群とされており、古くからイセエビ漁業が盛んな三重県等の先進県では禁漁期間の設定や水揚物の体長制限などが取り組まれています。茨城県をはじめとする近年になってイセエビの水揚量が急増している新興県においては、どのように資源管理していくか検討する必要性が生じています。

そこで、近年イセエビの資源量が増加している県や、今後資源量の増加が見込まれる県の試験研究機関が集まり、イセエビの試験研究や有効活用方法について専門家や先進県から取組内容について先進事例を学び、情報交換を行うという趣旨で、令和6年11月7日（木）に大洗町でイセエビ資源管理勉強会を開催しました。

2 開催結果

当日は専門家として東京大学大学院の山川准教授をお招きし、先進県として三重県水産研究所の方にリモートでご参加いただきました。山川准教授からは「イセエビの生活史と資源評価、資源管理」というタイトルで、国内のイセエビ資源全般に関わるお話をいただいた後、三重県水産研究所より、イセエビ漁業の現状と、現在取り組んでいる試験研究が紹介されました。新興県として、岩手県、宮城県、福島県の各公設試験研究機関の方々にご参加いただき、



写真：総合討論の様子

自県におけるイセエビ漁業の実態について発表いただきました。新興県の間でも漁獲量には大きな差があり、岩手県ではまだ見かけるようになった程度であるものの、茨城県では水揚量の急増に伴って重要種になってきているといったことが情報共有されました。

総合討論においては、現場に資源管理の取組を定着させていくための方法（シミュレーションによる予測）や、なぜイセエビが増えているのか（水温や黒潮大蛇行との関係など）などが議論されました。新興県においては、先進県に比べて漁獲物のサイズが大きい、漁期が水温の高い夏季（イセエビの産卵期にあたる）に限られるといった特徴があり、先進県の事例を学びつつ、新興県の特徴に則した資源管理を検討する必要があるなどの意見が出されました。

水産試験場では、引き続き資源管理に必要な情報収集、研究に努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

2024年のイセエビ漁業について

1 2024年のイセエビ漁獲量とCPUE

図1に茨城県におけるイセエビ漁獲量をまとめました。2024年9月までの漁獲量は50トンで、前年(54トン)をわずかに下回りました。今年は7月上旬に一時的に水温が下がったこと、9月には相次ぐ台風により操業できない日が続いたことが漁獲量減少の要因と考えられます。一方で、1日1隻当たり漁獲量(CPUE)は前年並みで(図2)、現時点では資源は維持されていると考えられます。

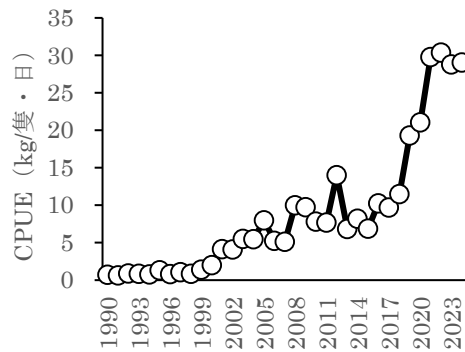
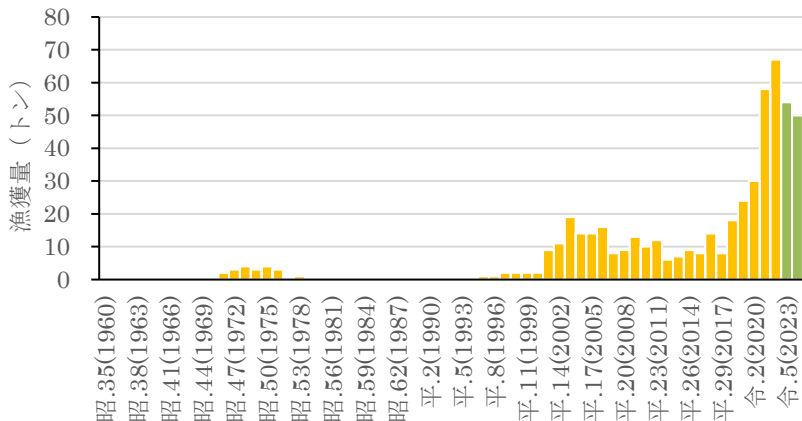


図2 茨城県におけるイセエビ CPUE の推移

図1 茨城県におけるイセエビ漁獲量の推移
2022年までは海面漁業生産統計調査(農林水産省)
2023年、2024年は茨城県水産試験場漁獲管理情報処理システム

2 イセエビの頭胸甲長と成熟度

2024年の市場調査で測定したイセエビの頭胸甲長(目の後ろから頭胸甲の後端までの長さ)を図3に、成熟度の調査結果を図4に示しました。頭胸甲長は70-80mmが主体で、前年の調査とほぼ同じでした。成熟度は7-8月に発眼卵の割合が高く、前年よりもやや成熟が早い傾向がみられました。

来年度も引き続き調査を継続する予定ですので、市場調査の際にはご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。(定着性資源部 多賀)

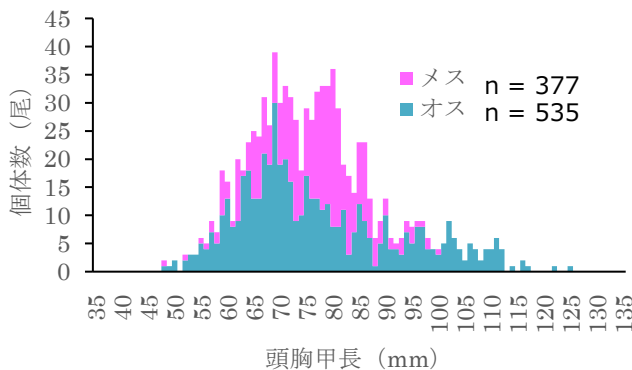


図3 市場調査によるイセエビ頭胸甲長組成

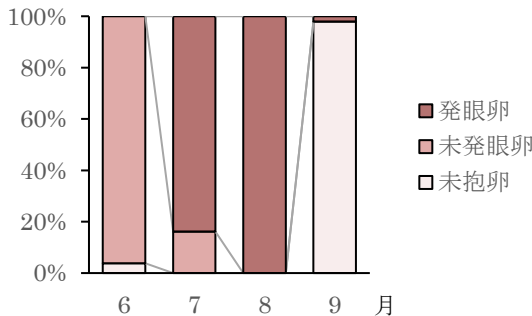


図4 市場調査によるイセエビ月別成熟度

【次回予告】令和6年11月29日発行の水産の窓は「鹿島灘はまぐりの資源状況」を予定しています。

